

DX 企業講話 株式会社桜井製作所 様



講師

株式会社桜井製作所 総務課長 石瀬 様、営業課 櫻井 様

講話内容

- ・地域企業における DX の取組
- ・会社概要、事業内容、製品開発内容、加工技術（プレス加工）について など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと等】

- ・金属のプレス加工をしている。手のりサイズ（最大で 10 cm^3 ぐらい）のものを作っている。
- ・製品の 7 割が車の部品を製作している。
- ・プレス加工とは対となった工具の間に素材をはさみ、工具によって強い力を加えることで素材を工具の形に成形すること。
- ・プレス加工は抜き、曲げ、絞り、成形、圧縮などの種類がある。
- ・プレス加工にはトランスファーと単発、順送加工があり、それぞれメリット、デメリットがあり、目的によって使い分ける。
- ・単発加工…人の手によって 1 工程ごと加工をする方法
トランスファー加工…各工程の単型をプレス機に配列し搬送機構を用いて自動で加工
順送加工…金型内に複数の工程がある。
- ・プレス加工にすることで品質を安定しコスト時間をかけずにできることで多くの同じものをつくることができる。
- ・DX（桜井製作所で行っているもの）：紙書類の電子化、chat Bot を使用して 24 時間対応可能に

・DX にいくためには、デジタイゼーション→デジタルイゼーション、DX デジタルトランスフォーメーションがひつようである

【感想】

- ・プレス加工については個人的には何をやっても短時間で、低コストだと思っていたが、実際には加工法によって異なり、考えていたよりも労力を使うのだなと思った。
- ・上から圧力をかけるだけで、部品ができていて、なぜ金属が割れないのか、柔らかい金属を使っているのかななどの疑問を持った。
- ・プレス加工の技術に自分が思っていた以上に方法が多くておどろいた。
- ・製作はもちろん、その他の活動にも力を入れていてすごいなと思いました。
- ・どんどん自動化が進んでいて人の手が必要なくなっているなと思った。
- ・DXを進めるためにはデータの採取やシステム開発者の育成、データリテラシ保有者の育成が大切だということがわかった。現場の意見を聞いて進めることが大切
- ・中小企業でDXが遅れる1番の要因はDXがわかる人材が少ないからであり、自分たちみたいなDXが分かる人材が必要になってくるんだなということがわかった。これから自分たちもDXについて学んでいくことが大切だなと思った。
- ・プレス加工について話を聞いて、思っていたよりも加工方法がたくさんあってびっくりしました。たくさん加工方法がある中でもそれぞれメリット、デメリットがあり、機械は奥が深いなと思った。
- ・しぼり加工など自分が今まで聞いたことのない加工法がたくさんできて知識のはばが広がったのと同時に企業について知ることができました。
- ・難しい事でも、小さな目標をもち1つ1つクリアしていくことで最終的には大きな目標を達成できることがわかりました。
- ・プレス加工によって作られたものが身の回りに多くあった。
- ・今の時代、DX化というものが大きな進歩につながるのだなと感じた。
- ・それぞれの加工方法にメリット、デメリットがあり、適切な判断をして新しいモノを生み出しているんだなと思った。
- ・私たちの1円玉や10円玉などもプレス加工で作られていて、プレス加工は、身近な所で使われている事が分かった。
- ・普段乗っている車の部品やコップ、メガネなどの身近なものが株式会社桜井製作所でつくられていてすごいなと思った。